

マルチーズ  
Maltese

F C I スタンダード No.65

■原産国

中央地中海沿岸地域

■後援国

イタリア

■用途

コンパニオン&トイ

■F C I 分類

グループ 9 コンパニオン・ドッグ&トイ・ドッグ

セクション 1 ビション&関連犬種

■沿革

マルチーズという犬種名は、この犬種がマルタ島を起源とするという意味ではない。なぜなら、形容詞の「マルチーズ」とは、隠れ家または港を意味するセム語の「málat」に由来しているからである。このセム語は多くの海運地域の名称をルーツとする。即ち、Méléda のアドリア島、Melita のシチリア及びマルタ島である。この小型犬の祖先犬は、中央地中海の港や臨海都市にある港の倉庫や船倉に生息していた多くのネズミを狩っていた。アリストテレスの時代（紀元前 384 年 - 322 年）に存在していた犬のリストの中には、ラテン語「canes melitenses」に由来する小型犬の犬種名が記載されている。その犬種は古代ローマの既婚婦人のお気に入りのコンパニオンとして知られており、1 世紀のラテン系の詩人である Strabon も称賛している。多くのルネッサンス画家は、当時サロンでくつろぐ美しい婦人の傍にマルチーズの姿を描いている。

■一般外貌

小型犬で、やや長いボディである。非常に長いホワイトの被毛で覆われ、とても優美で誇らしげな気品のある頭部を保持している。

■重要な比率

体長は体高よりも約 3 分の 1 超長い。頭部の長さは体高の 11 分の 6 に等しい。胸囲は体高よりも 3 分の 2 長い。マズルの長さは頭部の長さの 11 分の 4 に等しい。そのため、マズルの長さは頭部の長さの半分を若干下回る。マズルの深さは長さの 20% 強下回る。尾の長さは体高の約 60% に相当する。

■習性／性格

活発で、愛情深く、非常に穏やかで、大変知的である。

■頭部（ヘッド）

どちらかというと幅広で、その幅は頭部の長さの半分を僅かに超えている。

□頭蓋部（クラニアル・リージョン）

スカル

マズルよりも若干長い。頬骨弓の幅はスカルの長さと同しい。矢状面では、ほんの僅かに卵型である。スカルの上部は平らで、オクシパットは極僅かに認められる。前頭骨の突起及び眼窩上隆起は良く発達している。前頭骨の溝はごく浅いか、認められない。頭頂骨の側面はやや出っ張っている。

ストップ

非常に顕著であり、直角である。

## □顔 部 (フェイシャル・リージョン)

### 鼻 (ノーズ)

側望すると、鼻梁の延長線に対して鼻鏡は垂直である。鼻孔は開いていてボリュームがあり、丸みを帯び、完全なブラックである。

### マズル

長さは頭部の長さの半分を若干下回っている。眼窩下の輪郭は明瞭である。深さは長さよりもかなり短い。マズルの側面は平行であるが、前望した際、マズルの上のラインはカーブを描きながら側面に連なっているため、四角形に見えてはならない。マズルは真っ直ぐで、中央に顕著な溝を伴う。

### 唇 (リップス)

前望すると、上唇の中心は大きく開いたアーチ型をしている。その上唇の深さは僅かであり、唇交連は明瞭ではない。上唇はマズルの下側面が下顎によって明瞭になるよう、下唇に完全に接している。唇は完全なブラックでなければならない。

### 顎/歯 (ジョーズ/ティース)

正常に発達しており、軽い印象で、完全に適合している。下顎枝は真っ直ぐで、前部は突出も後退もしていない。歯列は完全に適合しており、切歯はシザーズ・バイトである。歯は白く、良く発達しており、完全である。

## ■目 (アイズ)

生き生きとし、用心深い表情をしている。サイズは大きめで、形は丸みを帯びている。決して奥目ではなく、むしろ僅かに突出しており、瞼は目に密接している。目はほぼ前頭面と同じ位置に付いている。前望した際、決して強膜 (白目) が見えてはならない。色はダーク・オークルで、目縁及び瞬膜の縁はブラックである。

## ■耳 (イヤーズ)

ほぼ三角形であり、幅は長さの約3分の1である。耳付きは高く、頬骨弓の上に位置し、少し持ち上げた状態でスカルの側面に垂れている。

## ■頸 (ネック)

豊富な被毛で覆われているが、頭部と頸の境界は明白である。上部の輪郭はアーチしている。長さは体高の約半分である。真っ直ぐに保持され、弛んだ皮膚は見られない。

## ■ボディ

肩端から坐骨端までの長さは体高よりも3分の1超長い。

### トップライン

尾付きまで真っ直ぐである。

### キ 甲 (ウィザーズ)

トップラインの僅かに上にある。

### 背 (バック)

長さは体高の半分を上回っている。

### 尻 (クループ)

非常に幅広で長く、水平に対して10度下方に傾斜している。

### 胸 (チェスト)

広々とし、深く、良く発達し、肘の下まで降り、肋骨は張りすぎていない。胸骨は非常に長い。

## ■尾 (テイル)

尻の位置に付いている。根元は太く、尾先は細い。大きな曲線を形成し、尾先は寛骨の間を通り降下し、尻に触れている。ボディの片側にカーブしている尾は許容さ

れる。

#### ■四 肢（リムズ）

##### □前 軀（フォアクォーターズ）

###### 一般外貌（ジェネラル・アピアランス）

前軀はボディに密接しており、立姿時は真っ直ぐで平行である。

###### 肩（ショルダー）

長さは体高の3分の1であり、先端は広く離れて付いており、十分にレイバックしている。

###### 上 腕（アッパーアーム）

肩甲骨よりも長く、良い角度を成している。

###### 肘（エルボー）

内外向していない。

###### 前 腕（フォアアーム）

筋肉を僅かに伴い引き締まっているが、犬種のサイズと比較すると幾分頑丈な骨格構成をしている。

###### 手 根（カーパス）（リスト）

前腕の直線上にあり、可動性がある。ごつごつしているべきではない。薄い皮膚で覆われている。

###### 中 手（メタカーパス）（パスターン）

手根と同様の特徴を持っている。その短さ故に垂直である。

###### 前 足（フォアフィート）

丸く、指趾は緊握しアーチしている。パッドはブラックであるべきで、爪もまたブラックか、少なくとも暗色であるべきである。

##### □後 軀（ハインドクォーターズ）

###### 一般外貌（ジェネラル・アピアランス）

頑丈な骨格構成である。後望すると後軀は平行であり、坐骨端から地面まで垂直である。

###### 大 腿（サイ）

筋肉質で、坐骨端は突出している。僅かに斜め前方向に傾斜している。

###### 膝（スタイフル）（ニー）

関節は自由で、内外向していない。

###### 下 腿（ローワー・サイ）

臛とほとんど目立たない骨の間に溝を伴う。水平下の傾斜は 55 度である。下腿は大腿よりも僅かに長い。

###### 飛 節（ホック・ジョイント）

飛節の前側の角度は 140 度である。

###### 中 足（メタターサス）（リア・パスターン）

地面から飛節端までの長さは体高の3分の1の長さより僅かに長い。中足はかなり下に付いており、完全に直立した状態である。

###### 後 足（ハインド・フィート）

丸く、指趾は緊握しアーチしている。パッドはブラックであるべきで、爪もまたブラックか、少なくとも暗色であるべきである。

#### ■歩 様（ゲイト／ムーブメント）

規則正しく、地面を滑らかに、自由で、トロット時の歩幅は狭く、非常に速いステップである。

## ■皮膚（スキン）

ボディの全ての部分の皮膚は非常に引き締まっており、暗色の斑及び赤みを帯びたワイン色の斑を伴う色素沈着がある。特に背にはそのような斑を伴う色素沈着がある。

## ■被毛（コート）

### 毛（ヘアー）

密生しており、艶があり、光沢がある。絹のような質感で、ボディ全体に長く垂れている毛はウェーブやカールの痕跡のない直毛である。ボディの毛は体高よりも長くあるべきで、広がっていたり房を形成することなくボディに密着するケープのように垂れている。前躯の肘から前足、及び後躯の膝から後足にある房は許容される。下毛はない。頭部、前顔部及びスカル（耳）の毛は非常に長く、前顔部の毛は髭と、またスカル（耳）の毛は耳を覆う毛と混じり合っている。尾の毛はボディの片側に垂れている。即ち、その長さはひばら及び大腿を通して飛節に達する。

### 毛色（カラー）

ピュア・ホワイト。淡いアイボリーの色調も許容される。淡いオレンジの色調は許容されるが、望ましくなく、欠点の要因となる。

## ■サイズ

### 体高

牡：21cm～25cm 牝：20cm～23cm

### 体重

3kg～4kg

## ■欠点

上記の点からのいかなる逸脱も欠点とみなされ、その欠点の重大さは逸脱の程度及び犬の健康並びに福利への影響に比例するものとする。

- ・ 斜視。
- ・ ボディが長すぎるもの。

## ■重大欠点

- ・ ローマン・ノーズ。
- ・ 顕著なアンダーショット。
- ・ サイズが牡で 26cm を超すもの、または 19cm を下回るもの。牝で 25cm を超すもの、または 18cm を下回るもの。

## ■失格

- ・ 攻撃的または過度のシャイ。
- ・ 肉体的または行動的に明らかに異常なもの。
- ・ 顔部と頭蓋の軸同士が顕著に収束していたり、分離しているもの。
- ・ 鼻の色素沈着が全くないもの、または鼻の色がブラック以外のもの。
- ・ オーバーショット。
- ・ ウォール・アイ。
- ・ 瞼の色素沈着が全くないもの。
- ・ 先天性または後天性であっても、無尾または短尾のもの。
- ・ 縮れた被毛。
- ・ 淡いアイボリーを除く、ホワイト以外の毛色のもの。
- ・ 範囲にかかわらず 2 色以上の斑。

注：・ 牡犬は明らかに正常な 2 つの睪丸が陰嚢内に完全に下降していること。

- ・ 機能的かつ臨床的に健全であり、犬種のタイプを有しているもののみが繁殖

に使用されるべきである。